

平成 19 年 12 月 14 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、横這い圏内で推移している。

最終需要の動向をみると、設備投資が前年を上回っているものの、公共投資が前年を下回っているほか、住宅投資も低調に推移している。この間、個人消費は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は増加基調にあるが、雇用情勢は弱めの動きとなっている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、総じてみれば横這い圏内で推移している。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高は、冬物衣料品の出足が低調なほか、身の回り品、雑貨などの売れ行きも鈍く、弱めの動きとなっている。一方、スーパーの売上高は、衣料品が低調なものの、飲料水や惣菜など食料品が堅調に推移しているため、前年並みの動きとなっている。

#### (家電量販店売上高)

家電販売は、薄型テレビやゲーム機が順調に売上を伸ばしているうえ、高性能の冷蔵庫や洗濯機も好調なことから、堅調に推移している。

#### (乗用車新車登録台数)

10月の乗用車新車登録台数(軽自動車を含む)は、燃費の良い新車投入の効果から普通車が前年をかなり上回ったことから、全体では昨年12月以来の前年比プラスとなった。

(2) 公共投資

公共工事請負金額は、下期に入り前年を下回って推移している。

(3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、改正建築基準法施行の影響もあって、低調に推移している。

(4) 設備投資

2007 年度下期の設備投資計画（12 月短観調査結果）をみると、非製造業では、情報通信の大型投資一巡から、前年度を大きく下回る計画となっているが、製造業では、電気機械や一般機械に投資積み増しの動きがみられ、前年度を大幅に上回る計画となっていることから、全産業ベースでは、前年度を上回る計画となっている。

3. 生産動向

生産は、増加基調にある。

(電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

(輸送機械)

完成車は、原油価格の高騰から欧米向けに燃費の良いコンパクトカー需要が増加しているため、高操業を継続している。自動車部品も、海外の好調な需要を背景に高水準の生産を続けている。

(一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業を続けている。

(その他)

鉄鋼の線材は、自動車向け需要に支えられ、高操業を続けている。一方、窯業・土石、木材・木製品は、住宅着工の減少から、減産傾向にある。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、10月の有効求人倍率（季節調整値）は0.65倍（前月：0.69倍）、新規求人倍率（同上）は0.93倍（前月：0.99倍）と、いずれも3ヶ月続けて低下した。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることなどから、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

11月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数4件（前年同月1件）、負債総額840百万円（同35百万円）となった。

件数ベースでは今年最小、負債総額も10億円以下とやや一服。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、公金預金が前年を大きく下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

一方、貸出動向をみると、法人向けが総じて低調なうえ、住宅着工の減少を受け住宅ローンの増勢も鈍化していることから、全体では前年を下回って推移している。この間、貸出金利は、ほぼ横這いで推移している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
---